

2022年第9回 SMG 杯札幌ミックスダブルス選手権大会

競技方法等事前通知

大会競技委員会

本大会は、JCA 競技規則 2021. 1 1 版及び本通知で定めた規則に基づき行いますが、基本的にセルフジャッジとします。

カーリング精神に則り、選手の皆さんのご協力をお願いいたします。

I 「ポジション A」のストーンの位置

4 月 9 日（土）大会開始前にて本部席前掲示板にて、審判長より通知する。

II 予選ブロック

（1）試合方法

- ・ 1 リーグ 3 チームの総当たり戦
- ・ 試合の長さは 6 エンドまたは 7 2 分とする。
- ・ エキストラエンドは実施しない。
- ・ 8 分前コールを行うので、そのエンドで試合を終了すること。

（2）予選の順位付け

- ・ 予選の順位は、勝ち点（ポイントは、勝：3、引き分け：1、負け：0）の多い順で決める。
- ・ 勝ち点が同点の場合は、直接対決により勝利したチームを上位とする。3 チームの勝ち点が同点の場合は、DSC の数値の短いチームが上位になります。次に、直接対決で決まらない場合、3 チームの勝ち点が同点で順位が決まらない場合、DSC を比較し、短い数値を持つチームを上位とする。優先順位 1・2・3 で決まらない場合、トスで勝ったチームを上位とします。

（3）LSD、試投、ストーンの選択

- ・ 試合開始前に各チーム代表 1 人による LSD を実施すること。
- ・ 記録の前に LSD の投球の順番をトスにより決定する。先に投球するチームは赤ストーン、後のチームは黄色ストーンを使用すること。
- ・ ストーンの回転方向は、1 試合目は時計回り、2 試合目は反時計回りの順で投球すること。これを守らなかった場合の記録は、1 8 5. 4 cm とする。
- ・ 2 試合目の投球者は、1 試合目の投球者と異なること。これを守らなかった場合の記録は、1 8 5. 4 cm とする。
- ・ LSD 投球者のみ、ホーム側からボード側へ 1 投の試投を認める。
- ・ DSC は LSD の最大値は取り除かず、2 試合の LSD の合計値とする。

（4）ストーンの配置

- ・LSDの短いチームが1エンド目のストーンの配置AまたはBのポジションを選択し配置する。
なお、LSDが同値の場合はトスにより勝ったチームに選択権を与える。
- ・ストーンは任意の6個を選択すること。

(5) パワープレイ

1試合1回認める。各スキップ同士で確認し配置する。

(6) 点数の決定、計測

- ・基本的にセルフジャッジとするが、計測が出来ない場合は審判員又は競技役員に声をかけること。
- ・各エンドの点数の掲示は各チームで行うこと。

(7) その他

- ・試合終了後のアイスの清掃は勝ったチームが行い、負けたチームはスコア表を本部に提出すること。
- ・必要に応じてアイスメイクを行うことが有るので、ご承知願いたい。

Ⅲ 決勝トーナメント

(1) 選抜方法、トーナメントの割り当て

- ・予選各ブロック1位 10チームのDSC、及び、各リーグ2位のうちDSCの短い6チームを選抜し順位を決定する。16チームでトーナメントを行う。
(決勝トーナメント対戦組合せについては、9日(土)の20時に札幌カーリング協会HPに掲示する)

(2) 試合方法

- ・試合の長さは予選リーグと同様。
- ・8分前コールを行うので、そのエンドで試合を終了すること。
- ・試合終了時点で同点の場合、代表1人によるLSDにより勝敗を決定する。
なお、この時のストーンの回転方法は問わない。LSDが同値の場合はトスにより決定する。

(3) LSD、試投、ストーンの選択

- ・試合開始前に各チーム代表1人によるLSDを実施すること。この時のストーンの回転方向は問わない。
- ・LSD投球者のみ、ホーム側からボード側へ1投の試投を認める。
- ・LSDの投球の順番はトスにより決定する。先に投球するチームは赤色ストーン、後のチームは黄色ストーン使用すること。
- ・LSDの計測及び記録は各チームで行うこと。

(4) ストーンの配置、パワープレイ、点数の決定、計測については予選リーグと同様。

以上